

【平成19年度 行事等実績】

	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
厚生労働省	平成19年7月4日	献血運動推進全国大会	福井県	国民	献血運動を全国的な国民運動としてさらに盛り上げるために開催。 (昭和天皇記念献血推進賞、昭和天皇記念学術賞授与及び日本赤十字社有功章授与(皇太子殿下)、厚生労働大臣表彰状及び感謝状贈呈(厚生労働大臣)、福井県知事感謝状贈呈(福井県知事))	日本赤十字社共催
	平成19年7月	愛の血液助け合い運動		国民	愛の血液助け合い運動月間の一環として、都道府県等(約36,000枚)へのポスターの配布。	日本赤十字社共催
	平成19年11月～20年3月	献血普及啓発広告の雑誌掲載		10代～20代の若年層	「週間少年ジャンプ」、「テレビジョン」、「non no」、「smart」の雑誌媒体への広告掲載。	
	平成20年1月1日～2月29日	「はたちの献血」キャンペーン		国民	献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く国民各層に献血に関する理解と協力を求める運動の一環として、都道府県等(約37,300枚)へのポスターの配布。	日本赤十字社共催
	平成20年2月11日	献血推進の街頭キャンペーン	東京・お台場	国民(特に若年層)	献血量が少なくなる春の時期にあわせ、若年層を中心とした国民の献血に対する意識の高揚と献血参加促進を図る目的で行う。 会場をけんけつちゃんパークに見立て、けんけつちゃん親子塗り絵コーナーや、けんけつちゃんとの記念撮影コーナーほか、「けんけつちゃん絵描き歌」の初披露やけんけつ体操、特別ゲストとして俳優の永井大さんをお招きしてのトークショーなど多様なステージを展開。	
	平成20年3月	中学生用 血液及び献血についての正しい知識の普及啓発資材(ポスター)制作		中学生	中学生に対し、血液及び献血についての正しい知識の普及啓発を図れるようなポスターを中学校(約34,000枚)及び都道府県等(約2,000枚)へ配布。	
	平成20年2月	献血普及アニメーション(DVD)制作(高校生向け)		高校生	近年、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、特に若年層献血者の減少が著しいことから将来の血液製剤の安定供給の確保を図ること目的とした、献血普及アニメーション(高校生向け)を制作し、全国の高校(約6,100枚)及び各都道府県業務主管課等(約200枚)に配布。	
	平成20年2月	献血についての副読本(HOP STEP JUMP(高校生用・教員用))制作		高校生	近年、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、特に若年層献血者の減少が著しいことから将来の血液製剤の安定供給の確保を図ること目的とした、献血に関する副読本(高校生用・教員用)を制作し、全国の高校生(約1,158,000部)及び教員(約123,000部)等に配布。	

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
北海道	H19.11.1～30	ティーンズドナー献血推進キャンペーン	道内一円	10歳代から20歳代の道民	近年、10歳代から20歳代の献血者が減少傾向にあることから、これらの年齢層に対する普及啓発を強化するため、血液センターと共催で若者を対象とした事業を実施した。	血液センター共催 ラジオコマーシャルの制作・放送: 20秒×50本 人気ラジオ番組とのタイアップ ポスターの作成: 1,000枚
	H19.7.23～25	愛の血液助け合い運動パネル展	道庁1階道政広報コーナー	地域住民	愛の血液助け合い運動月間の一環として「献血パネル展」を開催した。	血液センター共催
	H20.1.15～16	はたちの献血ポスター展	道庁1階道政広報コーナー	地域住民	はたちの献血キャンペーンの一環としてポスター展を開催した。	血液センター共催
	H19.10.1～5	献血推進タウン啓発	稚内市内	地域住民	北海道旭川赤十字血液センターの移動献血車を市内に巡回させ、稚内市立図書館において献血に関するパネル展を実施するとともに、献血推進に係る啓発資料等の配布し、街頭献血の呼びかけを実施した。	血液センター(旭川)共催 対象者数:約500名
	通年	広報	道内一円	道民	通年で報道機関や各市町村に対する広報資料の提供により献血推進の普及啓発を行った。	ラジオCM等、延べ21日間 北海道広報資料:通年
	H19.9.13	北海道社会貢献賞の表彰	かでの2・7 大ホール	献血推進功労者	献血の推進に組織を挙げて多大な功績があった団体や学校等を表彰した。	血液センター共催 表彰者数:10団体
北海道センター	平成19年4月～9月	サタデー・テーリング	北海道赤十字血液センター	札幌市小学生4年～6年生	札幌市交通局が実施している小学生高学年を対象としている、札幌市の施設を知り、郷土の知識を高めよう企画されているスタンプラリー方式の事業に血液センターをスタンプポイント設置場所として参加し、若年層の献血啓蒙をおこなった。	期間中の来場者 2,834名
	平成19年7月	サマー献血キャンペーン	北海道センター、附属センター及び室蘭出張所	道民	全道の学生ボランティアグループが各地で自主的な企画で献血と推進・啓蒙活動を実施した。	
	平成19年12月	クリスマス献血キャンペーン	北海道センター、附属センター及び室蘭出張所	道民	全道の学生ボランティアグループが各地で自主的な企画で献血と推進・啓蒙活動を実施した。	
	平成19年8月	北海道学生献血推進協議会	北海道赤十字センター	道内学生献血推進ボランティアグループ	全道の学生ボランティアグループが北海道センターに集まり、キャンペーンの実施要綱の検討及び若年層献血の推進についての討議を行った。さらに、血漿分画センターを見学し、血漿分画製剤の知識を深めた。	参加者 20名
	平成20年1月	北海道学生献血推進協議会	北海道赤十字センター	道内学生献血推進ボランティアグループ	全道の学生ボランティアグループが北海道センターに集まり、機関紙の内容、キャンペーンの実施要綱の検討、若年層献血の推進や学内献血のあり方及びボランティア組織のあり方等を協議した。	参加者 39名
	平成19年10月～12月	第2回「いのちと献血俳句コンテスト」	道内一円	道民	若年層を中心に幅広い年代から、献血に関する俳句の公募を行い、「献血」を通して支えられる「生命」に意識を向けさせるとともに献血活動の意義理解・普及の機会を創出することを目的とする。	応募総数 3,184人 10,304句

【青森県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
青森県	H19・7～8	《全国》愛の血液助け合い運動	県内一円	県民	ラジオ・フリーペーパー・ポスター・電光掲示板にて献血思想の普及啓発を図った。	血液センター共催
	H19・8・10	献血感謝の集い	青森駅前ビルアウガ5階イベントホール	県民	「愛の血液助け合い運動」の一環として開催。大臣賞伝達・知事賞贈呈・日赤有功章伝達・輸血体験発表・ミニコンサート。県民の献血への理解を深めてもらう。	血液センター共催 参加者 約200名
	H19・8・10	学生サマー献血キャンペーン	青森駅前ビルアウガ 横	県民	青森県学生献血推進連絡会が企画・運営。主に大学生ボランティアによる献血呼びかけ・ティッシュ配り・着ぐるみ・手作りブラカード・ドリンクサービス・献血バス装飾。	血液センター共催 参加学生：23名 献血受付者：56名
	H19・9・30	八戸健康まつり	八戸市公会堂	八戸市近隣住民	公会堂内に献血・臓器・骨髄・献血のブースを設け、参加者に説明をしたり、パンフレットを配布。	八戸市主催
	H19・12・2、9、16	学生クリスマス献血キャンペーン	県内3箇所のショッピングセンター	県民	青森県学生献血推進連絡会が企画・運営。主に大学生・高校生ボランティアによる献血呼びかけ・ティッシュ配り・ドリンクサービス・着ぐるみとの記念撮影・手作り絵本、紙芝居・アンパンマンのエキスを放映・ハンドベル・ドリンクサービス・くじ引き。	血液センター共催 参加学生：55名 献血受付者：229名
	H20・1～2	《全国》「はたちの献血キャンペーン」	県内一円	県民	ラジオ・フリーペーパー・ポスターにて献血思想の普及啓発を図った。	血液センター共催
	通年	400ml献血強化運動	県内一円	献血協力事業所	県献血推進協議会長名（知事）で、各協力事業所へ、400ml献血の協力を文書にてお願いした。	県内献血協力事業所：1、500箇所

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岩手県	7月18日	知事・日赤県支部長感謝状贈呈式	エスポワールいわて	献血推進協力団体及び個人	献血の推進に積極的に協力し、他の模範となる団体及び個人に対し、知事及び日本赤十字社岩手県支部長連名の感謝状を贈呈。	血液センター共催 15団体に対して感謝状を贈呈
岩手県	12月8日 ～12月25日	クリスマス献血キャンペーン	献血ルーム「メルシー」 他県内12ヶ所	県民各層	冬季における血液の安定確保と、「全国学生クリスマスキャンペーン2007」とのタイアップによる若年層に献血の輪を広げることを目的に実施。	血液センター共催 期間中献血実績(人) 献血受付数 3,407 献血者数 2,707 200mL 398 400mL 1,573 成分 736
岩手県	2月2日 ～2月14日	バレンタイン献血キャンペーン	献血ルーム「メルシー」 他県内7ヶ所	県民各層	冬季における血液の安定確保と、400mL献血の推進を目的に実施。 キャッチフレーズ 「献血はみんなの愛と勇気！」	血液センター共催 期間中献血実績(人) 献血受付数 2,464 献血者数 1,973 200mL 279 400mL 1,080 成分 614

【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮城県	H19.6.1～H19.8.31 (募集) H19.11.15(表彰式) H20.1.1～H20.2.29 (ラジオCM放送)	愛の献血70字ストーリー募集事業	・県内の高等学校、市町村、保健所及び献血ルーム・バス等に応募用紙及びポスターを配布 ・インターネット、郵便等を利用(募集) ・「献血者に感謝する集い」で表彰 ・入賞作品によるラジオCM放送実施	若年層を中心に幅広い年代	献血思想の普及と献血意識の向上を図るため、「献血」に関するショートストーリー仕立てにした作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、入賞作品によるラジオCM広報を行う。	県内の高等学校119校に応募を呼びかけるなどし、117通の応募があった。

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
秋田県	通年	ふれあい献血キャンペーン	県内60カ所程度	若年層を中心に幅広い年代	地域の各種イベント又はショッピングセンター等で、地域住民に献血思想の啓発普及を図るとともに献血を実施する。	血液センター共催

【山形県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山形県	H19.7.19	献血功労団体知事感謝状贈呈式	山形県庁知事室	献血功労団体	献血運動の推進に積極的に協力し、その実績が顕著で他の模範となる団体の労に報いるため、知事感謝状の贈呈を行った。併せて厚生労働大臣表彰・感謝状贈呈の伝達を行った。	知事感謝状贈呈 12団体
	H20.1.1～3.31	ヤングブラッドキャンペーン	県内一円	若年層	若者を中心とした新規の成分献血協力者の増加を図ることを目的として、県赤十字血液センターと共催により、FMコミュニティ放送によるスポットCM、生番組でのパーソナリティーによる呼びかけ及び街頭放送等を実施。	血液センター共催

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福島県	H19.7.3～H19.9.7 (募集) H19.12.19(表彰式)	ジュニア献血ポスターコンクール	・県内の中学校等の全生徒に応募用紙を配布(募集) ・福島県赤十字血液センター(表彰式)	中学1年生～3年生	次の献血を担う中学生から、献血に関するポスターの公募を行い、献血の必要性・重要性を啓発し、近い将来の献血者の増加を図るとともに、優秀作品を活用したポスターを作成配布することにより、広く一般の方々にも献血の必要性や重要性を呼びかける。	血液センター共催 57校から293点の応募があった。また、優秀作品を用いたポスターを作成し、中学校等に配布した。
	H19.7.31～H20.3.31	ふれあい伝言板事業「ショートメッセージ募集」	・県内で実施される献血会場及び病院等	・初めて献血した高校生等 ・輸血を受けた本人またはその家族	今後とも安定的に献血者を確保するためには、若年層の献血が極めて重要であることから、「献血」や「輸血」に関するショートメッセージの募集をとおして、人間尊重と相互扶助の精神を基本理念とした献血意識の普及啓発を特に若年層に対して図るとともに、広く県民への献血への理解と協力を働きかけることを目的とする。	血液センター共催 献血した方から11点、輸血を受けた方やその家族から2点の応募があった。
	H19.12.23	ふれあい伝言板事業「絵本の読み聞かせ」	クリスマス献血キャンペーン福島市会場(ツイン広場)	献血協力者及びその家族(幼・小児)等	献血に協力していただいた親子連れや呼びかけに興味をもった子供たち(幼・小児)に絵本「ほくらの血みんなの血」の読み聞かせを学生ボランティアに実施してもらい、幼・小児期における献血思想の普及・啓発を図る。	血液センター共催 献血待ちの親子、呼びかけに興味をもった親子等が参加した。

【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
茨城県	H19.11.1～H20.3.31	高校献血キャンペーン	献血ルーム、高等学校	高校生	・ポスターコンクール及びアンケートの実施	血液センター共催 高校生に献血への関心を持ってもらう
	H20.1.1～H20.2.29	はたちの献血キャンペーン	水戸献血ルーム	水戸周辺の大学生	・駅前北口へ移転した水戸献血ルームのため、ポケットティッシュの配布 ・毎週金曜日にネイルアートの実施	血液センター共催 水戸献血ルームの存在を大学生にPR

【栃木県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
栃木県	H19.6.9～H19.6.10	「県民の日」献血キャンペーン	渡瀬運動公園(藤岡町) 県民の日記念イベント「どうゆうのけんちょう?」会場内	県民	栃木県医薬品配置協会や栃木県学生献血推進連盟「かけはし」の協力を得て、県民に対し、献血の普及啓発を行うとともに、移動採血車による献血を行うことにより、「献血思想」の意識の醸成を図ることを目的とする。	血液センター共催 来場者:約1,200名 献血者数:79名
	H19.7.26	献血功労者表彰式及び記念コンサート	とちぎ福祉プラザ	県民	平成19年度愛の血液助け合い運動の関連行事として、特に献血事業に積極的に協力し、広く県民の模範となるべき功労のあった団体及び個人に対して、献血推進協議会会長の感謝状を贈呈するとともに、県民を対象とした記念コンサートを開催し、献血の一層の推進を図ることを目的とする。	来場者:約150名

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
群馬県	H19.7.29	第22回群馬県献血推進県民大会	県庁県民ホール	県内の献血功労者等	献血功労者等の表彰を実施。また、採血車を配車し、献血の協力を仰いだ。	血液センター共催 出席者:県内各地から200名
	H20.1.12及び H20.1.14	「はたちの献血」街頭キャンペーン	JR前橋駅、JR高崎駅周辺及び太田市 市内ショッピングセンター地内	若年層を中心に幅広い世代	「はたちの献血」期間中、特に成人の日前後に街頭キャンペーンを実施することにより、若年層献血者を確保することを目的とする。	血液センター共催 啓発資材6,000個を通行人に配布
群馬県赤十字 血液センター	H19.9.23	ザスバ草津「献血応援スペシャルマッチ」開催	群馬県立敷島陸上競技場	若年層を中心に幅広い年代	日本フットボールリーグ公式戦(J2)「ザスバ草津vsベガルタ仙台」の試合を「献血応援スペシャルマッチ」と銘打って血液センター所長の「献血推進メッセージ」の発信・ハーフタイム抽選会 また、けんけつちゃんの着ぐるみによる場内観客への献血PR等実施。当日は献血車を配車し、採血も行われた。また、監督が献血に協力され、選手による献血の呼び込み(ポケットティッシュ)も行われた。ザスバ草津は今年5月に献血推進・啓蒙に必要な「献血PRポスター」の作成に協力、作成したポスターは献血団体・県内高等学校に配布する予定としている。	血液センター共催 当日の観客6,817人(地元テレビ局で取り上げられた。)

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
埼玉県	H19.7.24	愛の血液助け合いの集い	埼玉会館	県民、受賞者	医療に要するすべての血液製剤を献血により確保する確保する体制を確立することを目的として開催し、献血功労団体(者)の表彰等の諸行事を実施して、広く県民各層に献血思想の普及と献血への理解と協力を求めるものである。	血液センター共催
	H19.2.1～H19.5.9 (募集)	献血推進ポスターコンクール(募集)		県内設置の中学生生徒	若年層における献血の普及を図るため、献血推進用のポスターの原画を募集し、優秀作品を選考する。最優秀作品においてポスターを作成、献血の普及を図るとともに、広く県民に呼びかけを行うものとする。	血液センター共催 県内の中高生から471名の応募があった。

【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
千葉県	H19.7.1	愛の血液助け合い運動	JR千葉駅東口前並びにクリスタル広場	県民	広く県民に献血への理解と協力を求めることを目的に、主催者出席による運動月間オープニングセレモニーの実施と「ポークウィン千葉」によるうらわの配布並びに献血へ呼び掛けを実施した。	血液センター共催 イベントとして、県警音楽隊による演奏
	H19.8.1～8.31	千葉県公務員職場献血推進月	県内各地	県民	献血協力者が減少する8月に、県内の公務員を対象に職場での献血の実施を呼びかけ、この時期に必要な血液の確保を図ることを目的とする。	血液センター共催
	H.19.8.5	学生サマーキャンペーン	ららぽーとTOKYO-BAY	県民	夏場の血液不足を補う手段の一つとし、若年層への献血の理解と協力を促す事を目的とする。献血会場にて献血への呼び掛け等を実施。	血液センター共催 約20名～25名名の学生が呼び掛けをする。
	H19.8.23	小学生献血学習会	千葉県千葉港赤十字血液センター 東京赤十字血液センター(視察先)	県内の小学校に在学する児童生徒とその保護者	若年層に対する献血啓発活動の一環として、普段献血に接することのない子供に幼少時から献血に対する興味、関心を持ってもらうことで、将来的な献血推進に資することを目的に実施。(スライドやビデオによる血液の働きや献血の意義等について説明、血液検査・製剤工程等施設見学等を実施。)	血液センター共催 大型バス2台利用した献血学習バスツアー 28組 62名の親子が参加
	H.19.9.13	ライオンズクラブ国際協会 333-C地区献血推進研究会	ホテルスプリングス幕張	県内ライオンズクラブ	県内ライオンズクラブを対象に、日頃の献血奉仕活動に対する意見交換や、事例発表などをしてもらい今後の献血奉仕活動に生かす。	血液センター共催
	H19.10.30	千葉県献血感謝のつどい	千葉県文化会館	献血功労者及び献血協力推進団体	県内において献血功労者及び献血協力推進団体に対して、表彰する。また、中・高校生から献血推進啓発ポスターを募集し、それぞれ知事賞1名・千葉県健康福祉部長賞2名・千葉県赤十字血液センター所長賞2名を選び、表彰した。	血液センター共催 県内の中学生135名、高校生30名から応募があった。
	H.19.12.22 H.19.12.23	学生クリスマスキャンペーン	JR千葉駅東口前並びにクリスタル広場ららぽーとTOKYO-BAY	県民	全国統一キャンペーンを12月に行うことにより、冬場の血液不足を補う手段の一つとし、若年層への献血の理解と協力を促す事を目的とする。献血会場にて献血への呼び掛け等を実施。	血液センター共催
	H20.1.12	はたちの献血キャンペーン	フルルガーデン八千代	県民	特に献血協力者数が減少傾向となる冬期に、広く県民に対し献血への理解と協力を求めることを目的として、主催者出席によるオープニングセレモニーを実施。併せて、「千葉ロッテマリーンズ」選手とマスコットによるトークショー、サイン会、献血クイズ等のイベント並びに献血呼び掛け等を実施した。	血液センター共催 千葉ロッテマリーンズ 浅間敬太選手 末永仁志選手
	H20.2.1～2.29	千葉県献血推進強調月間	県内各地	県民	国が主唱する「はたちの献血」キャンペーンの徹底を期するために、本県独自の運動として県内各地の献血会場において啓発資材の配布を実施した。	血液センター共催
H20.3.22	複数回献血クラブ	千葉市文化交流プラザ	県民	県民及び、献血協力者にお集まり頂き、「献血をする上での健康づくり」講演「糖尿病漫談と健康体操」	血液センター共催	

【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
東京都	H19.10.1～H20.3.31	携帯メールクラブキャンペーン	東京都内各献血ルーム	ルーム来所献血者	携帯メールクラブ会員募集と、メールでの成分献血予約を推進するためにキャンペーンを実施。期間中、メールで成分献血予約した会員と、400mL献血のメール依頼に協力された会員に記念品を進呈する。	血液センター共催 通常月平均1,000名 キャンペーン期間月平均1,500名
	H19.11.4(日) 17(土) H20.3.15(土)	医学講演・赤十字救急法(AED)短期講習会 “サンクスドナーAED”	武蔵野赤十字病院 1回 東京都赤十字血液センター 2回	携帯メールクラブ会員	日頃の献血への協力に対するお礼として、携帯メールクラブの会員を対象とする医学講演と赤十字救急法講習会を開催し献血の重要性とAEDの使用法を含めた心肺蘇生法について理解・習得いただく。	血液センター共催 受講定員280名に対して1,100名以上の受講申込があった。
	カード配付期間 H19.9.1～H19.11.18 キャンペーン期間 ①H19.11.19～ H19.12.17 ②H20.1.2～ H20.1.31 ③H20.3.10～ H20.4.14	冬季献血ほっとキャンペーン	東京都内各献血ルーム	ルーム来所献血者	期間中に事前に配布したカードを持参の上献血に協力してくれた方に記念品を渡すことで、血液が不足する冬季(11月～4月上旬)の献血者確保を目的とする。	血液センター共催
	H20.2.1～H20.2.29 (配布)	携帯メールクラブ会員募集 キャンペーン (もやっとスティック)	東京都内各献血ルーム	ルーム来所献血者	携帯メールクラブのPRと会員募集を目的としてキャンペーンを実施。期間中、献血された方に簡単なバズル「もやっとスティック」を配布。「もやっとスティック」を解答し、携帯メールクラブに会員登録された方は、次回献血時に記念品を進呈する。	血液センター共催 新規登録者数＝通常月平均600名 配布後の2月は1,721名
	H19.4.月24日～ H20.4.月末	400mL献血リピートキャンペーン	移動・出張採血現場・都内献血ルーム	400mL献血協力者	移動採血現場で400mL献血協力者にキャンペーンカードを配布し、次回そのカードを持参の上再度400mL献血に協力してくれた方に記念品をプレゼントする。年2回以上の複数回献血者の増加を目的とする。	血液センター共催
	H20.2.月1日～3月 31日	チャレンジ成分キャンペーン	東京都内献血ルーム (全血ルームを除く)	ルーム来所献血者	都内献血ルームで全血献血協力者にキャンペーンカードを配布し、次回そのカードを持参の上成分献血に協力してくれた方に記念品をプレゼントする。全血献血協力者に成分献血の協力も呼びかけることで、一人当たりの献血回数の増加を目的とする。	血液センター共催
	H20.2.月1日～3月 31日	成分1・2・3献血キャンペーン	東京都内献血ルーム (全血ルームを除く)	ルーム来所献血者	都内献血ルームでキャンペーンカードを配布し、成分献血協力ごとに1回スタンプを押印し、3回押印された方に記念品をプレゼントする。定期的に成分献血にご協力をいただくことを目的とする。	血液センター共催
	H19.8.7～H19.8.8	献血おもしろゼミナール	東京都赤十字血液センター (日本赤十字社辰巳ビル)	小学3年生以上の児童及び保護者	若年層への献血啓発事業として実施。小学生を対象にスライド学習及びパネルクイズ、検査・製材・供給部門の所内見学等を実施し、将来の献血者育成及び献血思想の普及につなげることを目的とする。	血液センター共催 二日間計4回の開催で、合計56名が参加。好評により、その後も学校単位等で受入れを実施。20年度以降も継続して実施予定。

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
神奈川県	12月1日	神奈川県献血推進功労者表彰式	横浜市教育会館	献血推進功労者及び献血の絵ポスター展入賞者	献血の推進に功績のある団体及び個人に対して表彰を行う。	血液センター共催
	10～2月	献血の絵ポスター展	横浜マリタイムミュージアム他県内赤十字病院	県内在住・在学の小中学生	献血可能年齢に達しない小中学生が献血に関心を寄せる契機となるよう、献血に関する絵画を募集する。	血液センター共催
	8月6日～10日 12月26日	献血ボランティアスクール	県内3箇所の採血会場及びその周辺	県内在学の高校生	献血に関する座学や献血ルーム・バスの見学、採血現場での呼び掛けや接遇などのボランティア体験を通じて、高校生が献血についてより深く理解することにより、自発的なボランティア活動の契機とすることを目的とする。	血液センター共催 参加者から、将来、献血や献血に関するボランティア活動について積極的に参加したいという感想が得られた。また、参加者を対象に12月により深い内容でスクールを開催した。
神奈川県内赤十字血液センター	10月17日	ボラフェスタ IN KANAGAWA	日本丸メモリアルパーク	県内ボランティア団体	ボランティア団体同士の交流を通じて、その輪を広げるとともに、ボランティア意識の情勢を図ることを目的とする。また、献血をボランティアとしての認識を広めることで、献血意識向上への波及を期待するもの。	血液センター共催 イベント内で実施するラジオの公開生放送に県知事が出演し、献血の現状や重要性などをリスナーに訴えた。

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
新潟県	平成20年3月8日	新潟県輸血フォーラム	新潟大学医歯学総合病院	輸血医療関係者	輸血療法を適正に行う上での諸問題等についての理解を深め、もって血液製剤の使用のより一層の適正化を図る。 (内容)合同輸血療法委員会、研究発表、講演会	血液センター共催 適正使用への理解と協力をお願いした。
	通年	献血普及講演会	高等学校	高校生	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図る。	血液センター共催 7校で実施。講演会后、献血呼びかけ活動に参加した高校生もいるなど、普及啓発が図られた。
	平成19年9月7日	献血功労者表彰式	新潟県自治会館	献血運動推進団体	長年にわたり献血に協力いただいている団体等を表彰した。	血液センター共催 今後も継続的な協力が期待できる。

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
富山県	H19.5.11、5.24	教育現場への働きかけ	県教育記念館ほか	県内全高校長、県内学校(小・中・高)の保健主事	献血事業の啓発普及について協力を働きかけた	
	H19.7・8、H20.1・2	ショッピングセンターでの懸垂幕掲示<新規>	富山駅前のショッピングセンター	一般県民	富山駅前の商業施設を活用し、献血啓発用の懸垂幕を掲示し、献血思想の普及を行った。	
	H19.7・22	サマー献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	夏場の血液不足解消のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施。	血液センター共催
	H19.7～10、H20.1・2	献血啓発CMの上映	TV、シネマコンプレックスで映画の本編前にCMを上映するもの	一般県民	献血推進CMを作成し、TVや映画館で上映することにより献血の普及啓発を行った。	
	H19.7.20～9.2(募集期間) H19.10.20(表彰式)	献血推進用ポスター募集・表彰	県内小・中学生を対象に献血推進ポスターを募集し、優秀作品を表彰するもの 表彰式:富山電気ビル	県内小・中学生	未来の献血を担う児童生徒に対し献血への理解を深めた。	血液センター共催
	H19.6～H20.3	保健師による健康相談<新規>	献血協力企業など(献血車:県内5地区)	献血申込者のうち、比重不足などで献血できなかった方	比重不足による献血できなかった者に対し、保健師による健康相談を実施し、健康な献血者の確保に努める	血液センター共催
	H19.7	コンビニとの連携<新規>	県内の某コンビニエンスストアー105店舗に掲示	一般県民	愛の献血たすけあいポスターを県内の某コンビニエンスストアー105店舗に掲示	血液センター共催
	H19.12・9	全国学生クリスマス献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	年末年始の血液確保のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施	血液センター共催
	H20.1.4、1.10、1.11	はたちの献血キャンペーン	県名各地ショッピングセンター、駅など	献血啓発資材等の配布	冬期における血液不足の解消のため、街頭キャンペーンを実施し、広く県民に理解と協力を求めた	血液センター共催
	H20.1.12(土)放映	献血推進広報「献血に行こう」番組制作<新規>	地元テレビ局(県の広報番組「こんにちは富山県です」)9:30～9:45	一般県民(特に新成人)	献血者の減少、若者の献血離れなどが深刻なため輸血用血液の不足、献血による血液がどのように活用されているかをレポートし、献血に対する関心を高めることが目的である	
	H20.1・14	「はたちの献血キャンペーン」イベント	ショッピングセンター	一般県民	ラジオ公開生放送による献血啓発活動及びLOVEメール会員募集イベントを実施。	血液センター共催
	H20.1.26～2.4 H20.2.8～2.18	献血ポスター優秀作品の展示	県内ショッピングセンター	一般県民	小中学生献血推進ポスターコンクールの優秀作品展示を行い、献血思想の普及を図る	

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
石川県	H19.7.1～H19.10.31 (募集) H19.12.18(表彰式) H19.12.12～H20.1.9 (展示会)	献血ポスターコンクール入賞者表彰式	県庁特別会議室	県内中学生	県内中学生を対象に、献血に関するポスターの公募を行い、献血できる可能年齢に達した際にも、献血に対する抵抗が少なくなることを期待する。	血液センター共催 24校から、233点の応募があった。
	H19.7.1～H19.8.31	バス車内広告	県内全域路線バス	県民	全国的に実施している7月の愛の献血助け合い運動に併せて、県民への普及啓発を目的とする	
	H19.9.29 H19.10.20 H19.10.28	大学学園祭会場での献血キャンペーンの実施	金沢医科大学 金沢学院大学 県立看護大学	大学祭参加者	若年層に対する普及啓発と、異動採決者を設置し、献血の体験を実施する。	血液センター共催
	各市町成人式	新成人対象啓発	成人式会場	県内全新成人	各市町における成人式出席者に啓発資料等を配布	

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福井県	H19.7.1	愛の血液助け合い運動街頭キャンペーン	県内ショッピングセンター	県民	・献血と併せ啓発資料の配布による献血思想の普及啓発。	血液センター共催
	H19.7.4	第43回献血運動推進全国大会	サンドーム福井	全国の献血運動推進に携わる関係者 約2,400名	・皇太子殿下の御臨席を仰ぎ、第1部の献血功労者への表彰式、体験発表等に加え、第2部のアトラクションとして越前万歳、合唱、吹奏楽などを行った。	血液センター共催
	H19.7.29/8.5	中部ブロック統一学生サマー献血キャンペーン2007	県内ショッピングセンター	県民	・福井県学生献血推進連盟による街頭キャンペーンを実施し、特に若年層に対する献血思想の普及啓発。	血液センター主催
	H19.12.22/12.23	全国統一学生クリスマス献血キャンペーン2007	県内ショッピングセンター	県民	・福井県学生献血推進連盟による街頭キャンペーンを実施し、特に若年層に対する献血思想の普及啓発。	血液センター主催
	H19.12.23～ H20.5.30	冬から春まで献血キャンペーン	血液センター	県民	・慢性的に血液が不足する冬季、春先にキャンペーンを展開し、母体での血小板成分献血者を安定的に確保する。	血液センター主催
	H20.1.26/1.27/1.29 /2.1/2.2/2.3	臨時採血所の設置	県内ショッピングセンター	県民	・若年層を含め安定した集客力のある大型ショッピングセンターに臨時採血所を開設し、冬季における血液の安定供給を図る。	血液センター共催 6日間で817人の方に献血いただいた。
	H20.1.26	「はたちの献血」街頭キャンペーン	県内ショッピングセンター	県民	・献血と併せ啓発資料の配布による献血思想の普及啓発。	血液センター共催

【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山梨県	H19.7.14	愛の血液助け合い運動街頭キャンペーン	甲府駅前等3箇所	県民	愛の血液助け合い運動の期間に合わせ街頭キャンペーンを実施。ポケットティッシュ等配布。献血啓発CM放映。テレビ等によるPR。	血液センター共催
	H19.9.5	第25回献血運動推進大会	ベルクラシック甲府	県民	献血功績者表彰(厚生労働大臣表彰・感謝状、県表彰、日赤表彰)。講演。参加者は一般県民、献血功績者、市町村職員、関係団体等。	血液センター共催
	H20.1.13	はたちの献血キャンペーン、街頭キャンペーン	甲府駅前等3箇所	新成人を中心とした若年層	はたちの献血キャンペーンの期間に合わせ街頭キャンペーンを実施。絆割膏等配布。甲府駅ビルに懸垂幕掲示。テレビ等によるPR。	血液センター共催
	H19.7～H20.3	献血地域キャンペーン	各保健所管内(5箇所)	県民	各保健所管内において献血モデル市町村を選定し献血啓発活動を実施。	血液センター共催

【長野県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長野県	H19.10.26～10.28 H20.1.12～1.14 H20.2.15～2.17	献血ルーム体験運動	駒ヶ根市、佐久市、飯田市の市内大型店	県民	血液センターのない地域の大型店に臨時の献血ルームを設置し、献血の啓発を行うとともに献血への参加を募る。	献血者数：193人 268人 189人
	H19.7.16、H19.7.21 H19.12.1、H19.12.2	学生ボランティアキャンペーン	長野市、飯田市の大型店前	若年層を中心に幅広い年代	献血者が減少する夏期・冬期に大型店前に移動採血車を配車し、学生ボランティアの協力でサマーキャンペーン・クリスマスキャンペーンを実施し、献血者を確保する。	血液センター主催 献血者数：162人 124人
	H19.5.3、H19.10.6、 H19.12.8 H19.5.26、 H19.9.22、H20.1.26 H19.8.18、 H19.10.6、H20.1.5 H19.5.5、H20.1.4、 H20.3.16	定例献血スポットキャンペーン	長野市、上田市、岡谷市、山形村の大型店前	県民	血液センター、献血ルーム以外に定期的に献血が行える場所を設定するため、長野市、上田市、岡谷市、山形村の大型店に定期的に移動採血車を配車し、定例スポットとして定着させることで献血者を確保する。	血液センター共催 献血者数：727人
	H19.10～H20.3	”けんけつ”啓発ラジオマンズリー放送	全県	県民	献血者が減少する寒い季節に、通勤者や若い世代のラジオの視聴率が高い時間帯の番組内で、平日の毎日、同じ時間に、献血を呼びかける放送をすることで、番組の視聴者に”献血”という言葉を目にする機会を増やし、献血協力者の底上げを図る。	放送回数：130回
	H19.7 H20.1	ラジオスポット放送	全県	県民	県内民放ラジオ2局で献血スポット広告を放送し、献血者を確保する。	放送回数：24回

【岐阜県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岐阜県	H19.10.24	献血感謝の集い	未来会館 長良川ホール	一般、関係者	・献血推進功労者表彰 ・高校生献血推進提案入賞者表彰	血液センター共催 400名が参加した。
	H19.6.18～H19.8.31	「高校生の献血推進提案」募集	表彰は、献血感謝の集いで実施	高校生(県内)	若者が献血の理解を深め、献血への協力を促す提案を募集した。大賞1、入選2、佳作5を選定。	37点の応募があった。

【静岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
静岡県	H19.7.27	平成19年度静岡県献血推進大会	静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」	県民	「愛の血液助け合い運動」の一環として開催する。大会では、献血功労者に対して知事褒賞等の贈呈を行うとともに、「薬の不思議」と題して特別講演を行った。	血液センター共催 参加者 約380人

【愛知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛知県	H19.7.1～H20.3.31	複数回献血キャンペーン	全献血会場	県民	キャンペーン期間中に県内の全献血ルーム、血液センター及び献血会場において400ml献血をして、「けんけつちゃんお約束カード」をもらった方がもう一度400ml献血をすると先着10,000名に「ハローキティオリジナルシャープペン」を贈呈した。	血液センター共催 400ml複数回献血者数の確保
	H.19.12.22	学生クリスマス献血キャンペーン2007	栄広場(名古屋市中区錦)	若年層を中心に幅広い年代	愛知県学生献血連盟所属の学生ボランティアと協力して、学生有志やタレントによるステージライブを実施し、若年層への献血協力を呼びかけた。	血液センター共催 若年層への献血協力の呼びかけ
	H19.8.15、16、21	血液おもしろゼミナール～夏休み親子教室～	愛知県赤十字血液センター(瀬戸市)(8月15・16日) 愛知県豊橋赤十字血液センター(豊橋市)(8月21日)	小学生とその保護者	児童期からの献血教育の推進を目的として、小学生とその保護者を対象とした親子献血教室を開催した。	血液センター共催 児童期からの献血教育の推進

【三重県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
三重県	H19.8.8	献血功労者表彰式	津都ホテル(津市)	厚生労働大臣表彰状・感謝状贈呈者、知事感謝状、日赤感謝状、同支部感謝状、三重県赤十字血液センター感謝状等受賞対象者	平成19年度の表彰を県、日赤三重県支部、血液センターと合同で実施。	血液センター共催 報道機関に情報提供した。

【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
滋賀県	平成18年7月20日	平成19年度滋賀県愛の献血感謝のつどい	粟東芸術文化会館さくら	受賞者・日赤奉仕団等献血啓発協力者	献血功労者に対する表彰状等伝達・贈呈式およびESPERERANZA/えすぺらんぎによる記念講演	血液センター共催
	平成19年8月5日	「サマー献血」	東近江保健所八幡支所	若年層・周辺住民	学生献血ボランティアによる献血啓発活動	血液センター共催 78人の献血者
	平成19年9月9日	湖北長浜1000人献血運動	長浜勤労者総合福祉センター臨湖	周辺住民		血液センター共催 178人の献血者
	平成19年12月23日	「クリスマス献血キャンペーン」	JR近江八幡駅北口南口	若年層・周辺住民	学生献血ボランティアによる献血啓発活動	血液センター共催 177人の献血者
	平成19年12月24日	「クリスマス献血キャンペーン」	西武大津ショッピングセンター	若年層・周辺住民	学生献血ボランティアによる献血啓発活動	血液センター共催 75人の献血者
	平成20年1月	「はたちの献血」キャンペーン	県内各地	成人式を迎えた者	市町を通じ、献血啓発資材の配布	

【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
京都府	7月	愛の血液助け合い運動	府内一円	府民	血液製剤の国内自給を目指し、啓発を実施	血液センター主催
	7月8日	夏の学生献血キャンペーン	京都駅前	府民	学生献血推進協議会が主催し、献血の呼びかけを実施	血液センター主催 献血人数：176人
	10月18日	献血推進協力団体等表彰式	京都府公館	献血推進協力者等被表彰者	献血推進協力団体・個人の表彰	団体表彰：12団体、個人表彰：3人
	12月9日	クリスマスキャンペーン	京都駅前	府民	学生献血推進協議会が主催し、クリスマスにちなんだ衣装等により、献血の呼びかけ等啓発を実施	血液センター主催 献血人数：208人
	2月9日	はたちの献血キャンペーン	府内一円、京都駅前	府民	新成人を中心に献血の啓発を実施、又学生献血推進協議会主催による、献血の呼びかけの実施	血液センター主催 献血人数：101人

【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大阪府	H19.7.1～H19.9.30 (募集) H19.12.4(特賞発表)	熱血献血キャンペーン 複数回献血推進のためのチャッチコピー(標語)大募集	・府内の高等学校及び市町村献血推進協議会等に応募を依頼。インターネット、郵便等を利用(募集) ・森ノ宮ピロティホール(特賞をラジオCM化して発表)	若年層を中心に幅広い年代	若年層を中心に幅広い年代から、特に今回の募集は、複数回献血の必要性を認識いただくとともに若者が献血に関心を持てるような内容の標語を募集した。	血液センター共催 夏休みの課題のような形で学校のクラス単位での応募もあり、3ヶ月という短期間に府内外から2880件の応募があった。
大阪府及び日本赤十字社大阪府支部	H19.12.4	大阪府献血感謝のつどい	森ノ宮ピロティホール	献血功労者及び一般府民	献血功労者表彰及び講演会の二部形式で実施。あわせて、募集事業の特賞作品をラジオCM化したものを発表。	血液センター共催

【兵庫県】

都道府県	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
兵庫県	H19年8月	夏季献血推進強調月間	県下全域	県民、団体(事業所等)	広報媒体の活用等により献血思想の普及啓発を図るとともに、地域献血会や職域献血の積極的な開催を呼びかける。	血液センター共催 87団体(事業所等)に文書で献血協力を依頼
	H19年11月5日	兵庫県献血功労感謝のつどい	県公館	県民、受賞者等	永年にわたり献血運動等に功績のあった団体等を顕彰し、関係者の意識の高揚を図るとともに、血液事業についての県民の理解を深めるため、輸血医療に関する体験発表等を行う。	血液センター共催 約280名参加
	H19年12月～ 20年1月	年末年始献血推進強調期間	県下全域	県民、団体(事業所等)	広報媒体の活用等により献血思想の普及啓発を図るとともに、地域献血会や職域献血の積極的な開催を呼びかける。	血液センター共催 133団体(事業所等)に文書で献血協力を依頼
兵庫県赤十字 血液センター	H19年11月	18歳の献血キャンペーン	県立高校154校	県立高校3年生約3万人	若年層献血推進のため、県、教育委員会の協力を得て、県立高校全3年生にキャンペーンチラシ(内容…アンパンマンのエキス、ルーム地図、献血基準など)を配付し、献血ルームや献血バスでの参加を呼びかけた。	18歳の献血者数は平成18年度11月～2月809人、19年度は933人。
	H19年4月～	プラス1献血クラブ-HYOGO-	献血ルーム・移動会場	メール会員	献血ルームや献血バス、DMなどで会員を募集。19年6月～20年2月で危機的在庫時など3回メール送付。 ※国庫補助事業	会員数20年2月末現在で2380人(昨年同月比+1000人)。 献血応諾数は300人。
	H19年11月～20年3月	栄養相談の実施	ミント神戸献血ルーム・姫路管内移動会場	献血参加者など	兵庫県栄養士会とタイアップし、毎週月曜日ミントルームで実施。また、3月姫路献血バスで3回実施。 ※国庫補助事業	20年3月末現在で実施、51人参加。
	H19年5月～20年3月	ネイルケア・ハンドマッサージ	ミント神戸献血ルーム	献血参加者(女性限定)	ヒューマンアカデミー神戸校学生による。水・木曜日。 ※国庫補助事業	20年2月末現在で、73回実施、736人参加。
	H19年9月～20年3月	スポーツマッサージ	ミント神戸献血ルーム	献血者	ヒューマンアカデミー神戸校学生による。金曜日。 ※国庫補助事業	20年2月末現在で、24回実施、359人参加。
	H19年8月18日、19日	『24時間テレビ』献血キャンペーン	アマドゥ(尼崎ショッピングセンター)	24時間テレビ来場者、買い物客	24時間テレビ放送日に合わせ高校生ボランティアとキャンペーンした。	2日間で受付153人－採血115人(400率85%)
	平成19年4月～7月	『オリックス』献血キャンペーン	スカイマークスタジアム	野球観戦者	オリックス球団とタイアップし、球場内でもオーロラビジョンなどで献血呼びかけいただいた。若年層中心。	3日間で受付283人－採血198人(400率85%)
	H19年8月2日、8月3日	血液センター親子見学会	血液センター	小学生の児童及び父兄	若年層(主として小学生)への献血思想普及活動。 ※国庫補助事業	2日間で児童・父兄の86人が参加。

【奈良県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
奈良県	H19. 4. 1～ H19.6.15(募集) H19. 7.31(表彰式)	献血運動啓発ポスター募集	・県内へ広報し、募集 ・県庁にて献血功績者と併せて表彰	県内在住・在学・在勤の方 (年齢制限なし)	広く県民に献血についての理解を深め、献血運動推進のPRに役立てるために実施。	応募 135 作品 うち、特選1点・入選4点について表彰
	H19. 7. 1～ H19.8.31	愛の血液助け合い運動 (街頭献血キャンペーン)	県内市町村	県民	各市町村の街頭において献血啓発運動を実施し、献血思想の普及啓発並びに血液が不足する夏期において安全な血液製剤を安定的に供給するため、献血者の確保を図る。	血液センター共催 県内市町村 28 ヶ所で実施 (献血者数：1,521人)
	H19. 7.31	献血功績者表彰式	県庁	献血に功績のあった者を表彰	献血に対する県民の理解を深め、献血運動を推進するため、献血に功績のあった者を表彰する。	①厚生労働大臣表彰の伝達:4団体 ②献血推進協議会会長(知事)表彰:12団体 ③「献血運動啓発ポスター」入賞者表彰:5名
	①H19. 8. 2～H19. 8. 8 ②H19. 8.20～H19. 9. 2	献血運動啓発ポスター入賞作品の展示	県内大型スーパー2店舗内 ①ダイヤモンドシティ・アルル ②奈良ファミリー	「献血運動啓発ポスター」入賞作品 (19点)	幅広い年齢層の優秀作品を展示することにより、広く県民各層に献血運動をPRし献血に対する理解と協力を求めることとする。	「献血運動啓発ポスター」特選1点・入選4点・佳作14点を展示
	H20. 1. 1～ H20.2.29	はたちの献血キャンペーン (街頭献血キャンペーン)	県内市町村	県民	各市町村の街頭において献血啓発運動を実施し、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く県民各層に献血に関する理解と協力を求め、献血者が減少しがちな冬期における安全な血液製剤の安定的供給のため、献血者の確保を図る。	血液センター共催 県内市町村 19 ヶ所で実施 (献血者数：950人)

【和歌山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
和歌山県	平成19年7月1日 ～31日	愛の血液助け合い運動キャンペーン	県内各地	県民	人の多く集まる場所において街頭啓発を実施することにより、献血に対する理解を深めてもらうことを目的とする。	血液センター共催
	平成19年7月24日	献血運動功労者に対する表彰及び感謝状の贈呈	県庁知事室	献血運動功労者	献血運動功労者に対する厚生労働大臣表彰状、感謝状及び県知事感謝状を贈呈し顕彰することにより、献血運動の継続的な発展を目的とする。	・大臣表彰2団体 ・大臣感謝状5団体 ・知事感謝状7団体
	平成19年7月22日	海の日イベントにおける献血	海の日イベント会場(和歌山港周辺)	若年層を中心に幅広い年代	若者や家族連れが多く集まるイベント会場において啓発及び献血を実施することにより、献血に対する理解を深めてもらうことを目的とする。	血液センター主催
	平成20年1月1日 ～2月29日	はたちの献血キャンペーン	県内各地	新成人	成人式会場において、啓発パンフレット等の配布を行うことにより、新成人に献血に対する理解を深めてもらうことを目的とする。	
	平成19年5月17日 ～9月11日(募集) 平成19年11月19日 (表彰式)	献血推進ポスターコンクール	和歌山県自治会館	献血推進ポスターコンクール入賞者	県内の高校生を対象にポスターコンクールを実施し、参加型啓発として献血に対する理解を深めてもらうことを目的とする。	・応募総数119点 ・最優秀賞1点 ・優秀賞3点 ・入選10点
	平成20年3月15日 ～28日	春の献血キャンペーン	県内全域(15秒テレビスポット放送、45回)	若年層を中心とした一般県民	日本赤十字社が実施する春の献血キャンペーンに併せて若年層を中心に、献血への協力を呼びかけることにより、献血に対する理解を深めてもらうことを目的とする。	
	平成19年4月1日 ～平成20年3月31日	高校文化祭等での啓発	県内各高校	高校生、教員	高校文化祭等において、献血車を配置し、啓発リーフレット、啓発物品配布により、献血及び啓発を行った。	血液センター主催

【鳥取県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鳥取県	H19.6.30 H19.7.7	街頭献血キャンペーン	ジャスコ鳥取北店 倉吉パープルタウン 米子駅前サティ	高校生	県下3地区で高校生ボランティアの参加・協力を得て、研修会や街頭での呼びかけを行うなど、血液センターが行う街頭献血を体験させた。	血液センター共催
	H19.7～8	献血推奨班編成による献血推	県下一円	各企業・団体	保健所、市町村及び血液センターで献血推進推奨班を編成し、各企業・団体等への巡回訪問を行い、献血への理解と協力を要請するとともに新規事業所の開拓を行った。	血液センター共催
	H19.8.2～5	親子見学会	血液センター等	小中学生の親子	夏休みを利用して、施設・献血車の施設見学を行うとともに研修会を行い、献血への理解を深めていただいた。また、初日には、講演やクイズなどのイベントを行った。	血液センター主催

【島根県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
島根県	H19.7.1～H19.9.30	高校生ふれあいキャンペーン	・県内の高校に生徒全員への配布を依頼。 ・郵便、FAX、メールで利用 ・全問正解者への図書券の進呈	県内の高校生全員	県内高校生全員を対象として、献血に関するクイズ付きのリーフレットを配布し、クイズへの応募、献血に関する質問等を募集。	血液センター共催 ・クイズへの応募:22名 ・全問正解者:11名 ・3名からの質問に対する回答を行い、ホームページでも公開

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
岡山県	H19.4.1～5.31 H19.4.28(オープニングイベント)	ももたろう献血キャンペーン	イトーヨーカドー岡山店他	若年層を中心とした県民	県学生献血推進連盟主催により若年層を中心とした県民に春における不足する時期の血液確保のため、献血を呼びかけた。	血液センター共催 献血者数151人であった。
	H19.5.2	鉢花贈呈式	岡山県赤十字血液センター	寄贈者: 岡山県インドアグリーン協会	ゴールデンウィーク中の血液の安定的確保を目的として、みどりの日に合わせ、同協会より鉢花を寄贈いただき、当日、いただいた鉢花を献血者にプレゼントした。	血液センター主催 岡山県インドアグリーン協会より鉢花250鉢をいただき、血液センターと献血ルームにおいてプレゼントした。
	H19.6.14	世界献血者デー	血液センター・献血ルーム・移動献血会場	献血者	6月14日の世界献血者デーを記念して、当日の全献血会場において、献血者の方に「けんけつちゃん携帯マスコット」をプレゼントした。	血液センター主催 献血者の方にたいへん好評であった。
	H19.6.29(オープニングイベント) H19.7.1～H19.8.31(月間)	岡山県愛の血液助け合い運動	岡山県赤十字血液センター	県民	全国的には7月の1か月間の実施とされている「愛の血液助け合い運動」を7月から8月の2か月間とし、夏場の血液不足の解消に努めた。また、オープニングイベントとしてキャラバン隊を編成し、献血協力団体を訪問し、協力を呼びかけた。	血液センター共催 「夏場の献血者確保」という目標のもと、県・市町村・血液センター等関係機関が一丸となって推進しており、その成果は十分認められる。
	H19.7.7	七夕献血キャンペーン	イトーヨーカドー岡山店	若年層を中心とした県民	県学生献血推進連盟主催により若年層を中心とした県民に夏における不足する時期の血液確保のため、献血を呼びかけた。	血液センター主催 献血者数97人であった。
	H19.8.1～H19.8.3 H19.8.7～H19.8.10	小学生親子血液センター見学体験教室	岡山県赤十字血液センター	小学校5・6年生 保護者	将来の献血者として、輸血医療を支えていただける小学生に、親子で献血や血液について、知識や興味をもていただくと共に親しんでいただくことで献血思想の普及を図った。	血液センター主催 県内432校の小学校に参加を呼びかけ、139校・681名(保護者を含む)の参加があった。
	H19.8.9	献血感謝のつどい	ビュアリティまきび	厚生労働大臣表彰状等受賞者他	献血に功勞のあった団体・個人に対して、厚生労働大臣表彰・感謝状の伝達並びに知事・日本赤十字社県支部長及び血液センター所長感謝状を贈呈するとともに、記念講演を行った。	血液センター共催 表彰及び感謝状を伝達、贈呈し、敬意を表するとともに、記念講演を開催し、献血に対する理解を深めた。
	H19.8.28～H19.9.18	血液事業海外研修生受入事業	岡山県赤十字血液センター	1名 (ベトナム赤十字社)	アジア諸国の血液事業向上に資するため、ベトナム赤十字社の研修生の受入れをおこなった。	血液センター主催 来岡した研修生はベトナム赤十字社の医師で、主に「献血者の募集」について、岡山センターで研修をおこなった。
	H19.10.29～ H19.10.30	献血推進団体との意見交換会	メルパルク岡山	中国・四国地区ライオンズクラブ 中国・四国地区献血推進担当職員	献血推進団体の中心的存在であるライオンズクラブの各リーダーの方々を招き、献血へのより一層の理解と協力を要請し、相互の連携強化を図るため、血液センター職員と意見交換をおこなった。	血液センター主催 各県の献血状況説明及び3グループに分かれて献血の推進についての意見交換を行い、より一層の献血への理解と協力をお願いした。
	H19.12.1～12.25	クリスマス献血キャンペーン	イオンモール倉敷他	若年層を中心とした県民	県学生献血推進連盟主催により若年層を中心とした県民に冬における不足する時期の血液確保のため、献血を呼びかけた。	血液センター共催 献血者数232人であった。
	H20.1.9	はたちの献血キャンペーンオープニングイベント「1日所長」委嘱式	岡山県赤十字血液センター	県民各層	献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として、広く県民各層に対し献血思想の普及を図った。	血液センター共催 岡山県学生献血推進連盟の学生代表者に1日所長を任命するための「1日所長」委嘱式を行い、施設内視察後、報道機関及び献血会場を訪問して、献血への理解と協力を訴えた。
	H20.2.3	サンクスドナーAED(AED講習会)	岡山赤十字病院	複数回献血会員	日頃、積極的に献血に協力していただいている方々を対象に、救命救急の講義と心肺蘇生法の講習をおこない、赤十字運動への参加推進を図った。	血液センター共催 複数回献血会員33名の参加があり、皆熱心に講習を受けた。
	H20.3.16	いのちと献血俳句コンテスト	岡山県赤十字血液センター(授賞式)	若年層を中心に幅広い年代	若年層を中心に幅広い年代から献血に関する俳句の公募を行い、「献血」を通して支えられる「生命」に意識を向けさせるとともに献血活動の意義理解・普及の機会を創出することを目的とした。	血液センター主催 岡山県においては、小中高校及び一般に応募を呼びかけ約7,584句の応募があった。その内、選出された5作品に対し、岡山センター所長賞を、3団体に対し同団体賞を贈呈した。

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
広島県	H19.4.1～6.18 (募集)	献血推進ポスター募集	県内全域	中・高校生	応募総数274名(中学生251名、高校生23名) 最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作10点選出	血液センター共催 若年層への献血啓発
	H19.6.12～ H20.3.14	献血に行こうキャンペーン共催	献血ルーム	全県民	5回のイベント時期を設定し、テーマにちなんだ記念品を贈呈するなど献血者の獲得を図る	血液センター主催 複数回献血促進
	H19.7.1～7.31	愛の血液助け合い運動	県内全域	全県民	懸垂幕掲示、ポスター配布、広報誌、ホームページ等による広報活動実施、献血ルーム前で献血呼びかけ(7/1)	血液センター共催 計画的な年間献血者の確保
	H.19.7.27	広島県献血推進大会	鯉城会館	献血功労者 行政・医療関係者	献血功労団体等表彰 献血推進ポスター募集優秀作品表彰	同上
	H19.7.31～8.2	血液センター見学会 「なるほど献血教室」共催	血液センター	小学生・保護者	スライド学習、血液センター見学、献血クイズ 参加者230名(こども138名、保護者92名)	血液センター共催 若年者及び保護者啓発
	H.19.9.22	広島県輸血懇話会後援	KKR広島	医療関係者	血液製剤の適正使用の推進についての講演会 出席者110名	血液センター共催 適正使用の促進
	H19.10.	献血推進担当者会議	保健環境センター	市町担当者 県保健所担当者	移動献血計画の策定	血液センター共催 同左
	H20.1.1～2.29	はたちの献血キャンペーン	県内全域	全県民	ポスター配布・掲示、チラシ作成及び成人式で配布 県広報誌による広報 街頭献血(1/8)	血液センター共催 若年層への献血啓発
	H20.1.1～1.31	広島県血液製剤使用状況調査	県内全域	血液製剤の使用量が多い上位100医療機関		血液センター共催 適正使用の促進

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
山口県	H19.7.7～H19.8.25	平成19年度「愛の血液助け合い運動」 強調月間献血イベント	14か所(デパート等街頭献血場所)	県民	高校生等のボランティアの協力を得て、献血イベントを実施することにより、献血への参加を呼びかける。	血液センター共催 ・受付者1501人 ・献血者1086人
	H19.5.30～H19.9.20 H19.12.20(表彰式)	献血ポスター・作文募集	・学校を通して中学生・高校生に募集 ・県庁(表彰式)	県内学校の中学生・高校生	これからの献血を担う中学生・高校生に対する献血思想の醸成を目的として実施。	・ポスター 168点 ・作文 120点
	H20.1.31	輸血用法委員会合同会議	県庁会議室	県内の血液製剤使用の100医療機関(医師・検査技師等)	血液製剤の適正使用推進のため開催(第8回)	
	H20.1.19～H20.2.23	はたちの献血キャンペーン	10か所(デパート等街頭献血場所)	若者を中心とした県民	高校生等のボランティアの協力を得て、献血イベントを実施することにより、献血への参加を呼びかける。	血液センター共催 ・受付者972人 ・献血者714人
	H20.3.2～H20.3.31	高校卒業記念献血キャンペーン	山口県赤十字血液センター	山口市内の高校3年生	高校卒業を契機として献血を体験してもらうため、期間中献血ルームでの献血を学校を通じて呼びかける。	血液センター共催 高校3年生の多くは400mL献血が可能となる。
山口県赤十字血液センター	H19.7.23～ 8.3	小学生親子血液センター見学 体験教室	山口県赤十字血液センター	県内の小学生(5・6年生)及び保護者	血液の大切さを学び、将来の献血の推進につなげる	・参加者約200人
	通年	小学生等を対象とした「献血出前講座」	県内の小学校	県内の小学生(5・6年生)	血液の大切さを学び、将来の献血の推進につなげる	平成19年度開催(参加者約500人) 20校訪問
	H19.7.7～ 7.8	七夕献血	2か所(街頭献血)	県民	山口県学生献血推進協議会ボランティアの協力を得て、献血への参加を呼びかける。	・献血協力者 160名
	H19.12.16～ 12.25	Red X'mas 2007	山口県赤十字血液センター	県民、FMラジオ視聴者	FMラジオの番組と連携し、献血キャンペーンを展開	マスメディアを活用した啓発
	H19.12.1～12.25	全国学生クリスマス献血キャンペーン2007	3か所(デパート等街頭献血場所)	若者を中心とした県民	学生献血ボランティアが、若年層への献血への協力を呼びかけ	・受付者271人 ・献血者215人
	H20.2.10～H20.2.14	バレンタイン献血	県内	県民	献血者へバレンタインチョコのプレゼントをし献血を呼びかけ	・固定施設:献血協力者 330名 ・移動採血車:献血協力者 607名
	H20.3.1～H20.3.7	ひな祭り献血キャンペーン	山口県赤十字血液センター・献血ルーム	県民	献血者へ雛あられをプレゼントし献血を呼びかけ	・固定施設:献血協力者 350名

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
徳島県	平成19年7月13日～9月14日(募集期間)	献血推進ポスター募集	県内の中学校、高等学校に募集要項を送付	中学生・高校生	献血推進ポスター作成を通して、献血に関心を持っていただくと同時に、献血に関する正しい知識を得る機会とする。	血液センター共催 77枚の応募作品から、選考会で11枚を選定、献血ルームで人気投票を実施し、最優秀作品を啓発用冊子の表紙に活用した。
	平成19年7月1～平成20年3月31日	献血メイト20's推進事業 メモリアル献血キャンペーン	血液センター、献血ルーム	10代～20代の若年層	若年層を対象に、献血思想の普及啓発、複数回献血者の確保、血液不足傾向が見られる時期の血液確保対策を図ることを目的とし、友人、知人と誘い合わせて、400mL献血、若しくは成分献血に協力していただいた、18歳から29歳までの方に記念品を贈呈する。	血液センター共催
	平成19年12月2日	徳島ヴォルティスファン感謝祭	徳島県鳴門市(鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール前広場)	若年層を中心に幅広い世代	地元サッカーチーム「徳島ヴォルティス」のファン感謝祭の会場において、献血啓発パネルを展示し、来場者に献血を呼びかけた。また、献血に協力していただいた方には、徳島ヴォルティスと連携し制作したオリジナルグッズを記念品として贈呈した。	血液センター共催

【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
香川県	H19.7.1	1日血液センター所長	高松市商店街	県民	地元女子バレーボールクラブチームの選手に1日所長を委嘱し、献血キャンペーン及び街頭献血を実施。警察音楽隊の演奏や啓発品の配布等を行い、献血への協力呼びかけをした。	血液センター共催
	H19.7.21 H20.1.26	高校生街頭献血キャンペーン	ゆめタウン高松 宇多津ビブレ	高校生	高校生献血ボランティアに献血に関する学習をしてもらった後、店内で献血への協力呼びかけを実施。あわせて街頭献血も行った。	血液センター共催 高校生を対象に献血ボランティアを募集したところ、延べ12校57名の応募があった。
	H19.8.2	香川県献血運動推進大会	県社会福祉総合センター	県民	厚生労働大臣表彰状・感謝状等の伝達を行った。また、ボランティアに関する特別講演も実施。	血液センター共催
	H19.8.6～8.8	小学生親子血液センター見学教室(新規)	香川県赤十字血液センター	小学4～6年生親子	献血に関する学習会を開催し、献血の大切さを学んでもらった。また、血液センター施設内の見学も実施。	血液センター主催 スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。
	H19.8.18	学生献血推進協議会主催キャンペーン	ゆめタウン高松	学生献血推進協議会	夏場の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。	血液センター主催 広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。
	H19.10～H19.12	献血出前講座(新規)	各小学校	小学4～6年生	希望のあった小学校に血液センター職員が出向き、学校の授業の一環として、献血に関する基礎知識の啓発を実施。	血液センター共催 スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。
	H19.12.22	クリスマス献血キャンペーン	ゆめタウン高松	学生献血推進協議会	冬場の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。献血協力者へはクリスマスケーキをプレゼントした。	血液センター主催 広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。
	H20.1.27	献血PR(bjリーグ)	高松市総合体育館	県民	若年層が多く集まるプロバスケットボールbjリーグの試合会場において、献血グッズやリーフレットを配布。また献血クイズやぐるぐるバット&ドリブルシュートなど来場者が参加できるイベントを実施。	血液センター共催 集客力の大きい会場でイベントを行うことで、若い人々を中心に、多くの人に献血のPRができた。

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
愛媛県	H19.7.30～H19.8.3	小学生親子血液センター見学体験教室	愛媛県赤十字血液センター 大街道献血ルーム 松山赤十字病院	小学校4年～6年生の児童及びその保護者	若年層への献血普及の一環として、「愛の血液助け合い運動」期間中である夏季において、献血年齢に満たない小学生を対象にして、思想普及を図るため開催し、血液のはたらきや血液センターの役割を理解していただき、献血に興味をもっていただくとともに、小学生の夏休みの宿題(自由研究等)を応援することを目的とする。	血液センター共催 県内361校の小学校へポスター・チラシを配布し、参加者を募集した。 5日間で児童103人、保護者74人の合計177人が参加した。
	H19.8.31	平成19年度えひめ献血感謝のつどい	いよてつ高島屋9階ローズホール	県民	全国で展開している「愛の血液助け合い運動」の一環として、県民に献血を身近に感じてもらうと共に健康な人からの善意の献血の必要性について理解を求め、県民総ぐるみ献血運動の一層の推進を図ることを目的とする。	血液センター主催 献血功労者に対する表彰式と若年者を対象としたイベント等を行い、約150名の県民が参加した。

【高知県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
高知県	平成19年7月1日 (日)	愛の血液助け合い運動」月間 キャンペーン	高知県高知市 中央公園北口	県民	献血ルームのPRと成分献血・400mL献血への協力を呼びかけるため、中央公園においてキャンペーンを実施し、夏場の血液の確保と啓発に努めた。	血液センター共催 受付者数：87人 200mL：8人 400mL：50人 不 適：29人
	平成19年9月2日 (土)	中国四国学生統一献血キャン ペーン	高知県高知市 中央公園北口	県民	学生献血推進協議会が中心となって、キャンペーンを行い、広く一般の方々に献血に協力していただき、夏場の血液確保に努めた。	血液センター主催、県後援 受付者数：62人 200mL：12人 400mL：30人 不 適：20人
	平成19年12月23 日(日)、24日(月)	全国学生クリスマス献血キャン ペーン'07	高知県高知市 中央公園北口	県民	12月に学生主体のキャンペーンを行い、冬場の血液確保と、若年層への献血への理解・協力を促すとともに活動の輪を広げることを目標に行った。	血液センター主催、県後援 23日 受付者数：116人 200mL：29人 400mL：51人 不 適：36人 24日 受付者数：108人 200mL：30人 400mL：44人 不 適：34人
	平成20年1月14 日(月)	第32回「はたちの献血」キャン ペーン	高知県高知市秦 イオンモール高知南コート	県民	1月14日(成人の日)に、赤十字奉仕団や学生ボランティアの協力をいただき、イオンモール高知でキャンペーンを実施し、知事を先頭に若年層を中心とする県民の皆様が献血への協力を呼びかけた。	血液センター共催 受付者数：141人 200mL：31人 400mL：83人 不 適：27人
	平成20年2月11 日(月)	バレンタイン献血キャンペーン	高知県高知市 中央公園北口	県民	学生ボランティア主催でのキャンペーンを行い、400mL献血への協力を努めた。	血液センター主催 受付者数：68人 200mL：17人 400mL：31人 不 適：20人

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
福岡県	19.6.16～6.17	福岡・北九州学生リーダー研修会	八女郡黒木町	福岡学生献血推進協議会 北九州学生献血推進連盟	新入生を迎え、献血への理解を深めるとともに両団体学生の交流と今後の献血推進活動への意見交換を行った。	血液センター主催
	19.8.30 19.8.31	北九州学生献血推進連盟サマーキャンペーン 博多献血夏祭り	ショッピングモールなかも JR博多駅前中央広場	若年層を中心に幅広い年代	学生ボランティアが企画し、夏期血液確保のためイベント、コンサート等を催し、献血協力の呼びかけを行った。	血液センター主催
	19.11.6	LC337国際協会複合地区献血委員連絡会議	福岡市	LC337複合地区三献委員、九州ブロック血液センター担当職員	LC献血委員の方々は1年任期で交代されるので、血液事業への理解を深めていただくとともに、今後、さらなるご支援をお願いした。	血液センター主催
	19.12.22 19.12.23	全国学生クリスマス献血キャンペーン	JR博多駅前中央広場 ショッピングモールなかも	若年層を中心に幅広い年代	学生ボランティアが企画し、年末・年始血液確保のため、イベント、コンサート等を催し、献血協力の呼びかけを行った。	血液センター主催
	20.1.14	はたちの献血	JR博多駅前中央広場 ザ・モール小倉	福岡学生献血推進協議会 北九州学生献血推進連盟	学生ボランティアが企画し、冬期血液確保のためイベント、コンサート等を催し、献血協力の呼びかけを行った。	血液センター主催
	20.3.8	複数回献血「感謝のつどい」	福岡ドーム	固定施設の献血協力者	複数回献血者の増加と献血協力者の底辺拡大を目的として、元福岡ソフトバンクホークス球団選手によるスポーツと健康についての講演会。	血液センター主催
	20.3.6～7	サウナ健康の日街頭献血	JR博多駅前中央広場	一般	サウナ・スパ協会加盟店による献血協力と献血の呼びかけ。	血液センター主催

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
佐賀県	平成19年7月29日	献血夏祭り	佐賀県赤十字 血液センター	一般	・献血推進協力団体に対する感謝状等の伝達・贈呈 厚生労働大臣表彰状(2団体) 厚生労働大臣感謝状(4団体) 佐賀県知事感謝状(4団体) ・地元ミュージシャンによるライブステージ ・献血トーク、クイズ、模擬店 等	血液センター共催 887人の来場者と96人の献血者
	平成19年7月15日	サマー献血キャンペーン	ゆめタウン佐賀(佐賀市)	一般	学生献血推進委員会によるショッピングタウンでの献血 献血者にジュース、お菓子、風船配布	血液センター主催 一般の買い物客86人の献血
	平成19年12月15日、16日	クリスマス献血キャンペーン	ゆめタウン佐賀(佐賀市)	一般	学生献血推進委員会によるショッピングタウンでの献血 ミュージシャンによるライブ、J2サガン鳥栖選手の握手会、献血クイズ	血液センター主催
	平成20年2月17日	はたちの献血キャンペーンイベント	ゆめタウン佐賀(佐賀市)	一般	・地元ミュージシャンによるライブステージ、キャンペーンソング発表 ・地元ダンスチームによるダンスパフォーマンス ・献血クイズ、啓発品の配布等 ・献血バスでの献血	血液センター共催 一般の買い物客93名の献血
	平成20年1月5日～2月29日	はたちの献血映画館CM放送	イオンシネマ佐賀大和(佐賀市)	一般	けんけつちゃんを用いた献血啓発CM	血液センター共催
	平成20年2月2日～2月29日	はたちの献血映画館CM放送	109シネマズ佐賀(佐賀市)	一般	若者向けの献血啓発CM	血液センター共催

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
長崎県	H19.5.29～H19.9.14 (応募)	献血推進ポスター募集	県内の中学校及び高校に応募を依頼	中学生、高校生	県内の中学生及び高校生を対象に、献血推進に関するポスターの公募を行い、輸血医療を支える献血の必要性についての意識高揚を図り、血液製剤の供給に支障をきたさない社会を目指すことを目的とする。	応募者数63点
	H19.7.1	サマーイベント2007	ジャスコ大塔店	若者を中心とした幅広い年代	移動献血車において献血を実施し、献血者の増加を促す。	血液センター主催
	H19.7.15	サマーイベント「あつかばってん献血ば'2007」	献血ルーム「はまのまち」	若年層を中心に幅広い年代	夏場の献血者確保対策として学生ボランティアを中心に街頭での献血の呼びかけ等を行う。	血液センター主催
	H19.7.7	血液センター「一日所長」行事	ホテルサンルート佐世保、四ヶ町アーケード	若年層を中心に幅広い年代	7月の「愛の血液助け合い運動」月間行事として、2名の方に血液センター「一日所長」を委嘱し、献血の呼びかけ等を行う。	血液センター主催
	H19.7.27	第7回長崎県献血感謝の集い	ウエルシティ長崎	厚生労働大臣表彰状・感謝状受賞者、長崎県知事感謝状受賞者、日本赤十字社有功章等受賞者、日本赤十字社長崎県支部長感謝状を贈呈する。併せて厚生労働大臣表彰状・感謝状、日本赤十字社有功章等の伝達式も行う。また、式典終了後、昼食会を開催する。	血液センター共催 参加者140名	
	H19.12.8～9(長崎市) H19.12.16(佐世保市)	全国クリスマス献血キャンペーン	献血ルーム「はまのまち」 献血ルーム「西海」	若年層を中心に幅広い年代	全国的なキャンペーンのイベントとして実施している。若年層の献血の輪を広げること及び冬季における血液の安定確保を目的とし、献血の普及啓発を行う。	血液センター主催
	H20.1.13	成人の日献血	献血ルーム「西海」	若年層を中心に幅広い年代	新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心に、400mL献血及び成分献血の推進を図ることを目的とて、献血の呼びかけを行う。	血液センター主催
	H19.1.10	はたちの献血キャンペーン	長崎大学文教町キャンパス	大学生中心	「はたちの献血キャンペーン」期間中のイベントとして、長崎大学に移動献血車を配車し、二十歳を迎える大学生を中心に献血の実施とPRを行なう。	血液センター主催
	H19.1.11	はたちの献血キャンペーン	長崎国際大学キャンパス	大学生中心	「はたちの献血キャンペーン」期間中のイベントとして、長崎大学に移動献血車を配車し、二十歳を迎える大学生を中心に献血の実施とPRを行なう。	血液センター主催
	H20.2.28～3.1	冬の献血者確保対策キャンペーン 「1,000人献血 寒かばってん献血ば'08」	長崎市、佐世保市を中心とした県下各地	若年層を中心に幅広い年代	3日間のキャンペーン期間中、1,000人の献血者の確保を目標に献血バス及び固定施設において献血への協力を呼びかける。	血液センター共催 キャンペーン期間(3日間)の献血者数1,046名。

【熊本県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
熊本県	年間(6か所×1週間)	移動献血ギャラリー	繁華街、大型店舗等の展示スペース	一般	パネル等を展示して400mL献血や成分献血の重要性並びに血液に関する正しい知識を県民各層に広げることを目的とする	
	愛の血液助け合い運動月間、はたちの献血キャンペーン期間	大型ビジョン啓発	繁華街の大型ビジョン	一般	愛の血液助け合い運動月間やはたちの献血キャンペーン期間を中心に啓発フィルムを上映して、若者を中心とした県民各層に広く啓発することを目的とする。	
	H19.12.2	学生クリスマス街頭キャンペーン	献血ルーム前	一般	学生献血推進ボランティアにより、全国的な献血キャンペーンであることを周知し、献血協力を呼びかける。	血液センター主催
	H20.1.14	はたちの献血街頭キャンペーン	献血ルーム前	一般	学生献血推進ボランティアにより、全国的な献血キャンペーンであることを周知し、献血協力を呼びかける。	血液センター主催

【大分県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
大分県	H19.6.21	保健所・市町村献血担当主管課長会議	大分県赤十字血液センター	保健所・市町村献血担当課長等	前年度の献血状況及び当該年度の献血目標を説明し、市町村の取り組みを促す。	血液センター共催
	H19.7.2	「愛の血液助け合い運動」街頭広報	大分市トキハデパート前	県民	献血協力の街頭広報を行い、献血のPRのうちわはポケットティッシュを配布した。	血液センター共催 32名参加
	H19.6.30～H19.7.1	大分県学生献血サポーター	九石ドーム、中津市、大分市	県民	学生献血推進協議会のメンバーと各献血会場を訪問し、献血の呼びかけを行った。また、J1リーグの地元チームの試合前に、ピッチで観客に献血のPRを行った。	血液センター主催 学推協のメンバー外36名参加
	H19.7.24	厚生労働大臣表彰状・感謝状伝達式	県庁	受賞団体	献血功労団体の大臣表彰状・感謝状受賞団体へ、福祉保健部長から伝達した。	表彰状:1団体、感謝状:7団体
	H19.11.3	献血功労団体知事表彰	県庁	受賞団体	文化の日に、献血功労団体を知事表彰した。	1団体
	H19.12.16	学生クリスマス献血キャンペーン「ふれあい広場」	大分県赤十字血液センター	県民	若年層を中心に献血の啓発活動を行った。会場には、屋台等多くの模擬店を出店した。	血液センター主催
	H20.1.13	はたちの献血キャンペーン街頭広報	大分市成人式会場	新成人	成人式会場で、新成人に献血のPRを行った。	血液センター主催
	H20.2.21	献血功労団体知事感謝状贈呈式	トキハ会館	受賞団体	献血功労団体に知事感謝状を贈呈した。	10団体
	H20.2.21	大分県献血推進協議会	トキハ会館	委員	今年度血液事業実績の報告と来年度の献血目標等について協議した。	
	H20.2.8 H20.2.19 H20.2.26 H20.3.17	血液製剤使用適正化説明会	別府市 宇佐市 竹田市 豊後高田市	医療機関	血液製剤の適正使用について医療機関に説明会を開催した。	150の医療機関が参加

【宮崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
宮崎県 宮崎県赤十字 血液センター	毎月第2水曜日	成分献血推進強化事業	地元新聞に掲載	県民	毎月、新聞紙上に献血の情報及び成分献血に協力のあった企業名等を掲載し、献血協力啓発を行う	血液センター共催
	H19.7.18、H19.7.23	献血推進リーダー育成事業	県内保健所2ヶ所	企業、団体の献血推進リーダー	各企業や団体に献血推進リーダーを設置して、研修会を開催し、企業や団体の組織的献血を促進する	血液センター共催
宮崎県	H19.6月から7月	「愛の血液助け合い運動」ラジオ・テレビ等広報活動	・県政テレビ番組「おしえてみやざき」 ・公報みやざき ・地元新聞に掲載「元気のススメ」	県民	「愛の血液助け合い運動」の周知と献血推進の啓発を行う。	
宮崎県赤十字 血液センター	H19.8.8～9	夏休み親子献血教室	宮崎県赤十字血液センター	小学生とその保護者	小学生とその保護者が、献血の必要性、重要性及び血液に関する正しい知識を学ぶことによって、家庭や小学校での献血への理解を深め、献血思想の普及啓発に寄与する。	血液センター主催
宮崎県 宮崎県赤十字 血液センター	H19.10.22	みやざき愛の献血運動推進大会	JAアズムホール	受賞団体	献血に功労のあった団体の大臣表彰及び感謝状、県知事感謝状、日本赤十字社有功章及び宮崎県支部長感謝状の伝達及び贈呈を行う。	血液センター共催
宮崎県学生献血推進協議会 献血ルーム高校 生ボランティアサークル	H19.12.22～24	クリスマス献血キャンペーンイベント	県内主要ショッピングセンター(3ヶ所) 献血ルーム「たちばな」	若年層を中心に幅広い年代	献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するため、学生ボランティアがクリスマスの献血協力を街頭で呼びかける。	血液センター主催
宮崎県	H20.1.4～H20.2.21	はたちの献血キャンペーン コマーシャルスポット放送	地元テレビ(2社)でCM放映	県民	地元出身2人組歌手「Spirit」及び知事出演による、若年層を対象とした献血推進のテレビCMを制作し、放映する。	
	H20.1.10、H20.1.18	「はたちの献血」ラジオ・テレビ等広報活動	地元テレビ番組「アッパレ! Miyazaki」 「ママ感情報 PAKUPAKU」	県民	「はたちの献血」の周知と献血推進の啓発を行う。	
宮崎県 日本赤十字社 宮崎県支部 宮崎県赤十字 血液センター	H20.1.13	はたちの献血キャンペーンイベント	県内主要ショッピングセンター	若年層を中心に幅広い年代	地元出身2人組歌手「Spirit」をゲストに迎え、ミニコンサートを行い、はたちの献血協力を店内で呼びかける。	血液センター共催
宮崎県赤十字 血液センター	H20.2.9～11	バレンタイン献血キャンペーンイベント	献血ルーム「たちばな」	若年層を中心に幅広い年代	学生ボランティアがバレンタインデーに献血協力を街頭で呼びかける。	血液センター主催
	H20.3.27	新献血ルーム「カーリーノ」OPENイベント	献血ルーム「カーリーノ」	県民	開所式典の前後で地元出身2人組歌手「Spirit」をゲストに迎え、ミニコンサート及び献血協力を呼びかける。	血液センター主催

【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
鹿児島県	平成19年4月13日	第23回ハート献血	枕崎市内5会場	一般県民	(社)枕崎青年会議所が主体となって、枕崎市内5ヶ所の献血会場において、市民に献血協力を呼びかけ、献血を実施した。	血液センター主催 献血者の確保
	平成19年7月7日	「愛の血液助け合い運動」街頭キャンペーン	鹿児島市天文館周辺	一般県民	かごしま親善大使、学生、ボランティア団体など約60人が参加して、通行人に対し、ティッシュやリーフレットを配り、献血への協力を呼びかけた。	血液センター共催 献血者の確保
	平成19年7月28日	鹿児島県建設業青年部会「夏の献血キャンペーン」	鹿児島中央駅	一般県民	鹿児島県建設業青年部会が全国建設青年の日である7月28日に、市民に献血協力を呼びかけるとともに、集団献血を実施した。	血液センター主催 献血者の確保
	平成19年8月3日～4日	献血おもしろゼミナール	鹿児島県赤十字血液センター	小学生(高学年)及び保護者	将来の献血者確保のため、小学生(高学年)に対し、献血の重要性や血液センターの役割について理解を深めてもらうことを目的に、施設見学等を行った。	血液センター主催 献血者の確保
	平成19年8月8日～9日	アロハ献血	指宿市内24会場	一般県民	指宿市内の24事業所において、献血協力を呼びかけ、献血を実施した。	血液センター主催 献血者の確保
	平成19年8月20～23日	第4回九州ブロック学生献血推進サミット in 鹿児島	サンエール鹿児島	学生を中心に一般県民	各県の学生献血推進協議会の代表者が集まり、学生間での情報交換、交流を行い、各県における献血推進リーダーの育成と献血運動への参加を促した。	血液センター主催 若年層に対する献血思想の普及啓発及び若年層の献血者の確保
	平成19年8月24日	平成19年度献血功労者表彰式	県庁	献血功労団体・個人	献血運動の推進に積極的に協力し、他の模範となる功績を示した事業所、学校その他の団体及び個人に対し、厚生労働大臣表彰状及び感謝状の伝達並びに鹿児島県知事感謝状の贈呈を行った。	事業所献血のより一層の推進と複数回献血の組織化
	平成19年12月23日	全国学生クリスマス献血キャンペーン2007	鹿児島中央駅 始良サティ	一般県民	冬場の血液不足を補い、若年層へ献血に対する理解・協力を促すとともに活動の輪を広げることを目的に、献血協力をよびかけるキャンペーンを実施した。	血液センター主催 献血者の確保
	平成20年1月2日～3日	初詣献血	鹿児島市照国神社	一般県民	年末年始における、血液の安定的確保のため、初詣参拝者に対し献血協力を呼びかけ、献血を実施した。	血液センター主催 献血者の確保
	平成20年1月13日	「はたちの献血」キャンペーン	鹿児島市天文館周辺	一般県民	新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く県民に献血協力を呼びかけ、献血を実施した。	血液センター共催 献血者の確保
平成20年2月9日	第18回鹿児島輸血医療懇話会	かごしま県民交流センター	輸血医療関係者	輸血医療のあり方についての講演や事例発表等を通じて、血液製剤の適正使用を図った。	血液センター主催 血液製剤の適正使用	
平成20年2月10日	バレンタイン献血	鹿児島市 オブシアmisumi	一般県民	鹿児島県学生献血推進協議会が自主的に企画し、若年層を中心に広く県民に献血協力を呼びかけ、献血を実施した。	血液センター主催 献血者の確保	

【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所等	対象	概要	備考
沖縄県・日赤	H19.7.12	愛の血液助け合い運動 街頭キャンペーン	県内	県民	広く県民に献血への理解と協力を求めるため。	血液センター共催 全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がり周知を図る。
	H19.7.30	厚生労働大臣、県知事表彰、日赤支部長及び県血液センター所長表彰の伝達式	県内(県庁内)	受賞団体及び個人	愛の血液助け合い運動の一環として、厚労大臣表彰及び県知事表彰等の伝達式を行う。	血液センター共催 全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がり周知を図る。
	H19.7.25～26	市町村献血キャラバンの実施	沖縄県本島(北部地区)	県民	愛の血液助け合い運動の一環として、献血キャラバン隊を編成し、市町村へ知事メッセージの伝達を行い、県民への献血思想の普及を図る。	血液センター共催 全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がり周知を図る。
	H20.1.8	はたちの献血 街頭キャンペーン	県内	県民(若年層を中心)	新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く県民各層に献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に成分献血、400mL献血の継続的な推進を図るため。	血液センター共催 全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がり周知を図る。
沖縄県	H20.1.14	成人式での知事メッセージ伝達	県内成人式会場	二十歳の成人	「はたちの献血」の一環として、新たに成人式を迎える若者へ成人式会場において、知事メッセージを送る	新たに成人を迎えるにあたり、献血への理解と協力を求める。
	H20.1.5、6	献血思想普及のためのテレビ番組放映	県内	県民	県の広報番組で、献血普及番組を制作し、放映(15分)	血液センター共催 もっとも有効な広報媒体を活用し、献血への理解を求める。
沖縄県・日赤	H20.2.14	血液センター1日所長	県内(献血ルーム前)	県民(若年層を中心)	二十歳の学生が1日献血所長に就任し、献血のPR活動を行う。	血液センター主催 全国一斉に行われるキャンペーンの盛り上がり周知を図る。
	H19.9～H20.3	献血教室	県内の高等学校	高校生	将来の献血制度を支えていく高校生の献血に対する知識を深めていくとともに、ボランティア精神を養うことを目的とする。(協力校:15校)	血液センター共催 将来の血液製剤の安定供給を確保していくため。